

八千代市制施行50周年・八千代市合唱協会設立40年記念／平成29年度県民芸術劇場公演

REQUIEM

M O Z A R T

モーツァルト／レクイエム K.626

2017 9/10 (日) 14:00開演 (13:30開場) 八千代市市民会館 大ホール

全席自由 3,000円 (フレンド 2,500円／高校生以下・障がい者 1,500円)

未就学児の入場はご遠慮いただいております。予めご了承ください。

指揮：山下一史

ソプラノ／針生美智子 メゾ・ソプラノ／鳥木弥生

テノール／土崎 譲 バリトン／大山大輔

管弦楽／千葉交響楽団

合唱／八千代レクイエム合唱団 (合唱指揮／長岡利香子)

【第一部】

「アカペラによる少年少女合唱の世界」

出演／八千代少年少女合唱団 (指揮／長岡亜里奈)



- 東葉高速線八千代中央駅から徒歩10分
- 駐車台数に限りがございます。なるべく公共交通機関をご利用ください。

■チケットプレイガイド

八千代市市民会館 ☎047-483-5111 八千代台文化センター ☎047-482-1833
勝田台文化センター ☎047-483-2141 佐倉市民音楽ホール ☎043-461-6221

■お問い合わせ

公益財団法人八千代市文化・スポーツ振興財団
☎047-483-5111 <http://www.ycp.or.jp>

主催：公益財団法人八千代市文化・スポーツ振興財団／八千代市合唱協会／千葉県
助成：一般財団法人自治総合センター 後援：東葉高速鉄道株式会社





山下一史 Kazufumi Yamashita - conductor

1984年桐朋学園大学卒業後、ベルリン芸術大学に留学。1986年ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。1985年12月よりカラヤンの亡くなるまでアシスタントを務める。その後、ヘルシンボリ響(スウェーデン)首席客演指揮者、九響常任指揮者、大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管常任指揮者などを歴任、2008年4月同団名誉指揮者就任。2006年仙台フィル指揮者、2009年4月から2012年3月まで同団正指揮者。2011年2月にはシューマン：歌劇「ゲノフェーファ」日本舞台初演。2013年1月と2016年3月には水野修孝作曲歌劇「天守物語」を指揮するなど、オペラ、オーケストラの両面で着実な成果を上げている指揮者として注目を浴びている。2016年4月よりニューフィルハーモニーオーケストラ千葉(現・千葉交響楽団)音楽監督就任。5月の第99回定期演奏会で、大成功を収め、以降、同楽団の評価を高めている。東京藝術大学音楽学部指揮科招聘教授も務めている。



針生美智子 Michiko Hariu - soprano

札幌大谷短期大学音楽科声楽コース卒業、同専攻科修了。文化庁オペラ研修所第11期修了。北海道文化財団、文化庁派遣芸術家在外研修員として、イタリアローマに留学。第二回藤沢オペラコンクール第一位および福永陽一郎賞受賞。第七回ハイメスコンクール第一位。サンタ・マルゲリータ・リグレ国際セミナーで大賞(第一位)受賞。同地において、『リゴレット』ジルダで出演。第五回道銀芸術文化奨励賞、小樽文化奨励賞受賞。

上野学園、札幌大谷大学非常勤講師。東京オペラプロデュースメンバー、東京室内歌劇場、二期会会員。

新国立劇場『イエヌーファ』『バルジファル』『ドン・ジョバンニ』『夕鶴』、二期会、松本オペラ『魔笛』、日生劇場『セビリアの理髪師』『夕鶴』、北海道二期会『フィガロの結婚』藤沢市民オペラ『リエッツ』の他、『コジ・ファン・トゥッテ』『リタ』『こうもり』『地獄のオルフェ』『メリー・ウィドウ』『ヴェニス之夜』『ジェロルシュタイン大殿下』等多数出演の他、札幌『カルミナ・ブラーナ』『讃歌』『第九』『レクイエム』『メサイア』等のソリストをつとめている。



鳥木弥生 Yayoi Toriki - mezzo soprano

フィレンツェ歌劇場公演《ジャンニ・スキッキ》でオペラデビュー。クレルモン=フェランでのビゼー《ジャミレ》主演、スペイン、バルセロナ他でのプッチーニ《蝶々夫人》スズキなど、ヨーロッパ各地でのオペラ公演やコンサートに多数出演し、現地メディアでも好評を得ている。2007年度、文化庁派遣でフランス、パリへ。エコールノルマル音楽院オペラ芸術科のディプロマを最高位で取得。

日本では岩城宏之との共演でデビュー。ビゼー《カルメン》、ヴェルディ《イル・トロヴァトーレ》アズチーナ、ベッリーニ《カプレーティ家とモンテッキ家》ロメオなど、オペラに加え、モーツァルト《レクイエム》、ベートーヴェン《第九》ヴェルディ《レクイエム》などオラトリオやコンサートのソリストとしても、数々の著名な指揮者、オーケストラとの共演で活躍している。2015年岩城宏之音楽賞受賞。



大山大輔 Daisuke Ohyama - baritone

東京藝術大学首席卒業。同大学院修士課程オペラ科修了。これまでに《セビリアの理髪師》フィガロ、《フィガロの結婚》フィガロ、伯爵、《メリー・ウィドウ》ダニロ、《こうもり》ファルケ等、主要な役を数多く演じる。“井上道義・野田秀樹”コラボレーションオペラ《フィガロの結婚》全10都市公演や、宮川彬良作曲 歌劇《ブラック・ジャック》各タイトルロールでの出演等、特色有る役柄で目覚ましい活躍を続けている。

また役者として様々な演劇作品への出演、劇団四季ミュージカル『オペラ座の怪人』では主役(ファントム)で客演するなどジャンルを越えて活動しており、その多彩な経験と独自の表現力から、台本執筆、MC、ナレーション、歌唱・演技指導にも定評がある。

洗足学園音楽大学ミュージカル・声楽コース講師。



土崎譲 Joe Tsuchizaki - tenor

東京藝術大学卒業。同大学院修士課程修了。第17回奏楽堂日本歌曲コンクール第一位、中田喜直賞受賞。第76回日本音楽コンクール入選。文化庁新進芸術家派遣員としてウィーンに留学。朝日新聞社主催第50回芸大メサイアをはじめ、バッハからプッチーニまで様々な宗教曲、オーケストラ作品にソリストとして出演し、その真摯な音楽アプローチには定評がある。オペラでも『こども音楽館』でジョン・

ミョンフンと、小澤征爾音楽塾「こうもり」で小澤征爾と共演。山田耕筰「黒船」で新国立劇場にデビュー後、清水脩「修禅寺物語」、R.シュトラウス「ばらの騎士」、ワーグナー「さまよえるオランダ人」で同劇場に出演を重ねる。東京・春・音楽祭、チロル音楽祭ERL(奥)、教会音楽祭(伊)、国際室内楽音楽祭(伊)など各地の音楽祭にも招かれ、さらに活躍の場を広げている。日本声楽アカデミー、日本演奏連盟会員。桐朋学園大学嘱託演奏員。

千葉交響楽団 Chiba Symphony Orchestra

千葉交響楽団は、千葉県唯一のプロオーケストラであり、前身であるニューフィルハーモニーオーケストラ千葉の31年間の活動を引き継ぐかたちで、2016年10月に公益財団法人千葉交響楽団に改称した。千葉県内の音楽文化の創造・発展に寄与することを使命とし、定期演奏会とニューイヤークンサートを主催するほか、県民芸術劇場や各地での演奏会など、毎年およそ20回にわたるコンサートに出演し、音楽の素晴らしさを県民に伝えている。もうひとつの主要な事業である、次代を担う子どもたちに向けての音楽鑑賞教室は、千葉県及び各市町村教育委員会の共催で「小中高等学校音楽鑑賞教室」を毎年50校ほど実施しているほか、幼稚園や特別支援学校への訪問演奏を合わせるとおよそ100校になる。そのほか、室内楽等を加えると、年間150回ほどのコンサートに出演している。2016年4月からは音楽監督として山下一史を迎え、その年5月の第99回定期演奏会「山下一史音楽監督就任記念コンサート」では、熱気あふれる演奏で観客を魅了し、以降の演奏会でも多くの聴衆に感動を与えており、「おらがまちのオーケストラ」を掲げて、あらたな挑戦を始めている。



八千代レクイエム合唱団 Yachiyo Requiem Chorus

合唱指揮/長岡利香子 Rikako Nagaoka - chorus conductor

八千代市合唱協会が設立40年を記念してこの「レクイエム演奏会」を企画し、一般公募によって4月に結成した。長岡利香子氏の指導の下、約30回におよぶ練習に励み、今回の演奏会を迎える。八千代市合唱協会は、これまでも「メサイア」「第九」など大掛かりな合唱作品に取り組んでおり、モーツァルトのレクイエムを手掛けるのは2009年2月以来2度目となる。